

○ 九戸村の放射線測定値は、国際放射線防護委員会が勧告した「屋外活動が制限される上限の暫定数値(3.8マイクロシーベルト/時=年間20ミリシーベルト)を大幅に下回っています。さらに厚生労働省・文部科学省は自然放射線以外の外部被ばくの放射線量を、年間 1ミリシーベルト以下が望ましいとしており、九戸村の放射線量はこれについても下回っています。

単位： マイクロシーベルト/時

月日	曜日	役場			戸田保育園			伊保内保育園			ひめはたるこども園			戸田小学校			山根小学校			伊保内小学校			長興寺小学校			江刺家小学校			九戸中学校		
		5cm	50cm	1.0m	5cm	50cm	1.0m	5cm	50cm	1.0m	5cm	50cm	1.0m	5cm	50cm	1.0m	5cm	50cm	1.0m	5cm	50cm	1.0m	5cm	50cm	1.0m	5cm	50cm	1.0m			
12月19日	月	/	0.044	0.046	/	0.052	0.053	/	0.073	0.073	/	0.066	0.075	/	0.060	0.049	/	0.036	0.039	/	0.049	0.059	/	0.050	0.044	/	0.076	0.073	/	0.047	0.045
12月20日	火	/	0.049	0.051	/	0.054	0.054	/	0.068	0.069	/	0.069	0.069	/	0.059	0.060	/	0.034	0.034	/	0.047	0.080	/	0.050	0.040	/	0.063	0.067	/	0.045	0.039
12月21日	水	/	0.051	0.049	/	0.052	0.050	/	0.064	0.066	/	0.069	0.065	/	0.056	0.052	/	0.036	0.036	/	0.047	0.041	/	0.048	0.040	/	0.068	0.069	/	0.049	0.039
12月22日	木	0.044	0.048	0.049	0.054	0.054	0.056	0.076	0.070	0.065	0.064	0.069	0.067	0.050	0.060	0.056	0.036	0.037	0.039	0.055	0.046	0.046	0.053	0.051	0.039	0.076	0.058	0.061	0.049	0.045	0.045

※測定値は、測定箇所ですべて計測した平均値です。

【測定機器】	
種類	シンチレーション式
測定放射線	γ線
エネルギー範囲	150keV～
感度	Cs-137, 0.01 μSv/hに対して毎分10カウント以上

参考

単位： マイクロシーベルト/時

【参考】	5cm	0.5m	1.0m	屋上
12月26日 盛岡市 (県環境保健研究センター)	/	0.050	0.040	0.030
12月26日 一関市 (一関地区合同庁舎)	/	0.150	0.140	0.070
12月15日 一戸町 (役場駐車場及び屋上)	0.054	0.051	0.044	0.040

※ 屋外活動が制限される上限の暫定数値(3.8マイクロシーベルト/時=年間20ミリシーベルト)を大幅に下回っています。

国際放射線防護委員会(ICRP)が2007年に出した勧告では、事故発生等の緊急時における放射線防護の基準値を20~100ミリシーベルトとしており、その下限値です。この値を考慮して、国は、事故発生から1年の期間内に積算線量が20ミリシーベルトに達するおそれのある区域を「計画的避難区域」としています。

また、同じ国際放射線防護委員会(ICRP)が2007年に出した勧告では、事故収束後の復旧期における管理できる範囲での、一般の人の年間積算線量として1~20ミリシーベルトという値を示しており、その上限となる値です。

国際放射線防護委員会(ICRP)によれば、事故継続等の緊急時の状況における基準である20~100ミリシーベルトを適用する地域と、事故収束後の基準である1~20ミリシーベルトを適用する地域の併存を認めています。この考え方を受けて文部科学省が、「福島県内の学校の校舎・校庭等の利用判断における暫定的考え方」を公表しており、その中で利用判断の暫定的な目安として、年間20ミリシーベルトを上限とする考え方が示されています。

※ 厚生労働省・文部科学省は、自然放射線以外の外部被ばくの放射線量を、年間 1ミリシーベルト以下が望ましいとしており、九戸村の測定値から換算した年間放射線量は、これを下回っています。

$$(年間線量) \text{ミリシーベルト/年} = [(測定値) \text{マイクロシーベルト/時} \times 8 \text{時間} + (測定値) \text{マイクロシーベルト/時} \times 0.4 \times 16 \text{時間}] \times 365 \text{日} \div 1,000$$

国際放射線防護委員会(ICRP)が2007年に出した勧告で、平常時における管理できる範囲での、一般の人の年間積算線量の値です。これは、一般の人が受ける放射線の量をなるべく低く抑えようとするための指標であり、健康に影響を及ぼすか否かを示す基準ではありません。またこの指標値には、自然界から受けると言われている年間2.4ミリシーベルト(世界平均)の放射線量や医療行為によって受ける放射線量は含まれていません。

国内では、国の原子力安全委員会が平常時のモニタリングとして、原子力施設の周辺住民等の健康と安全を守るため、環境における原子力施設に起因する放射性物質又は放射線による周辺住民等の線量が年間1ミリシーベルトを十分に下回っていることを確認し、その結果を周辺住民等に提供することとしています。

【参考】	胸のX線集団検診(1回)・・・50マイクロシーベルト
	胃のX線集団検診(1回)・・・600マイクロシーベルト
	東京~ニューヨーク間航空機旅行(往復)・・・200マイクロシーベルト
	1人当たりの年間自然放射線量・・・2,420マイクロシーベルト(2.4ミリシーベルト)
	(宇宙から390マイクロシーベルト、大地から480マイクロシーベルト、食物から290マイクロシーベルト、吸入により1,260マイクロシーベルト)